

令和8年度広島県DXステップアップ研修企画運営業務 公募型プロポーザル
 評価基準に基づく評価項目別の総合値 第1次審査

項目	評価のポイント	配点	参加者別評価値						
			株式会社 SIG NATE	NTTス マー トコ ネク ト株 式会 社	株式 会社 エー ジェ ント	株式 会社 パソ ナJOB HUB	株式 会社 VOST	株式 会社 ウチ ダ材 開発 セン タ	エッ ジテ クノ ロー ジー 株式 会社
1 実施方針	○業務を実施するに当たっての基本的な考え方や業務のポイント等が押さえられており、本業務の内容・趣旨を理解した上で実施する意欲があるか。	60	33	51	36	48	42	30	39
	○本業務を通じて、受講者が単に理解や意識醸成にとどまらず、業務効率化に取り組んでいる状態に達することが期待できるか。提案内容が受講者の行動変容につながる理由は妥当であるか。								
2 提案内容									
(1) 企画	○各コースの目標やターゲット設定、講座の内容は適切に設定されているか。	100	65	85	55	75	70	50	75
	○県や民間団体等が行うデジタルリテラシーの習得や業務効率化を推進するための他の研修やセミナーとの違いや、提案内容ならではのポイントが明確であり、本研修だからこそ参加したいと思える内容になっているか。								
	○参加者が、受講後にデジタル技術等を活用した業務効率化等に取り組んでいくために、実践的なスキルを身につける機会を提供する等、必要な知識を学べる内容となっているか。								
	○受講者の課題やニーズに合わせて、最適なコースや講義を選択できる仕組みは効果的であるか。								
	○各コース終了後のフォローアップ支援も含め、研修受講後の確実な実践に向けた仕組みは効果的であるか。								
(2) 講師等	○講師の選定が適切に行われ、分かりやすい講義が期待できるか。(類似の研修等の経験有無、模擬講義を参考)	60	42	39	42	45	39	33	36
	○分かりやすいテキストの作成が期待できるか。(過去の実績、模擬講義用テキストを参考)								
(3) 広報等	○集客目標の達成に向けた広報計画は適切であるか。	60	39	42	39	36	36	33	30
	○提案のあったチラシやバナー案は参加を促すターゲット設定に合った内容になっているか。								
	○より多くの受講を促すための工夫点は効果的であるか。								
	○提案のあった研修参加者数の目標値は妥当な数字であり、かつ達成が期待できるものであるか。								
(4) アンケート	○アンケート内容や手法は研修による効果を確認するに当たって妥当であるか。	40	26	24	22	24	26	26	24
	○アンケートの回答率向上に向けた工夫点は、より多くの受講者による回答が期待できるか。								
3 3 ※ その他自由提案	○仕様書に記載されたこと以外に効果的な提案をしているか。	40	28	34	24	28	26	22	24
4 実施体制	○本業務を実施するに当たり十分な体制となっているか。(1人の担当者に業務が偏っていないか)	60	39	42	36	42	39	33	30
5 経費	○経費に比べて、業務内容が優れた提案になっているか。	20	12	15	13	12	13	13	15
6 優位性	○本業務を実施するに当たっての提案者の優位性(類似業務実績等)はあるか。	20	14	12	11	17	12	12	11
総合値(委員全員の評価値の合計)		500	322	376	298	359	331	274	310

令和8年度広島県DXステップアップ研修企画運営業務 公募型プロポーザル
評価基準に基づく評価項目別の総合値 第2次審査

項目	評価のポイント	評定点	参加者別評価値		
			NTTスマートコネク ト株式会 社	株式会社 パソナJOB HUB	株式会社 VOST
1 実施方針	○業務を実施するに当たっての基本的な考え方や業務のポイント等が押さえられており、本業務の内容・趣旨を理解した上で実施する意欲があるか。	60	51	48	48
	○本業務を通じて、受講者が単に理解や意識醸成にとどまらず、業務効率化に取り組んでいる状態に達することが期待できるか。提案内容が受講者の行動変容につながる理由は妥当であるか。				
2 提案内容					
(1) 企画	○各コースの目標やターゲット設定、講座の内容は適切に設定されているか。	100	85	80	90
	○県や民間団体等が行うデジタルリテラシーの習得や業務効率化を推進するための他の研修やセミナーとの違いや、提案内容ならではのポイントが明確であり、本研修だからこそ参加したいと思える内容になっているか。				
	○参加者が、受講後にデジタル技術等を活用した業務効率化等に取り組んでいくために、実践的なスキルを身につける機会を提供する等、必要な知識を学べる内容となっているか。				
	○受講者の課題やニーズに合わせて、最適なコースや講義を選択できる仕組みは効果的であるか。				
	○各コース終了後のフォローアップ支援も含め、研修受講後の確実な実践に向けた仕組みは効果的であるか。				
(2) 講師等	○講師の選定が適切に行われ、分かりやすい講義が期待できるか。(類似の研修等の経験有無、模擬講義を参考)	60	39	48	39
	○分かりやすいテキストの作成が期待できるか。(過去の実績、模擬講義用テキストを参考)				
(3) 広報等	○集客目標の達成に向けた広報計画は適切であるか。	60	42	39	42
	○提案のあったチラシやバナー案は参加を促すターゲット設定に合った内容になっているか。				
	○より多くの受講を促すための工夫点は効果的であるか。				
	○提案のあった研修参加者数の目標値は妥当な数字であり、かつ達成が期待できるものであるか。				
(4) アンケート	○アンケート内容や手法は研修による効果を確認するに当たって妥当であるか。	40	24	24	28
	○アンケートの回答率向上に向けた工夫点は、より多くの受講者による回答が期待できるか。				
3 その他自由提案※	○仕様書に記載されたこと以外に効果的な提案をしているか。	40	34	30	26
4 実施体制	○本業務を実施するに当たり十分な体制となっているか。(1人の担当者に業務が偏っていないか)	60	42	42	39
5 経費	○経費に比べて、業務内容が優れた提案になっているか。	20	14	13	13
6 優位性	○本業務を実施するに当たっての提案者の優位性(類似業務実績等)はあるか。	20	12	16	13
総合値(委員全員の評価値の合計)		500	373	374	372